

新報

島根県教育庁
隠岐教育事務所
隠岐の島町港町24
電話 2-9772

【小学校算数科の授業改善 に関する学校訪問指導】

今学期も大変お忙しい中、学校訪問にご協力いただきましてありがとうございます。ほとんどの学校が、教材研究をしつかりと行い、わかる授業を目指し、授業実践に取り組んでいました。また、児童生徒が目を輝かせて授業に臨み、楽しそうに学習する姿がたくさん見られました。

さて、四月に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果から、学習の見通しや振り返り学習が実施されるようになったなどの成果が見られました。反面、正答数が多い層が全国に比べ少ない、記述式問題の正答率が低い、算数の勉強が好きだと答えた児童が少ないなどの課題が明らかになりました。そこで、各校の管理職、研究主任等と綿密な打合せを行い、各校の実態に

応じた算数科に特化した学校訪問を実施しました。短い時間でしたが、研修・協議の間でも熱心に取り組んでいた様子、先生方の意識の高まりを感じることができました。

【研修・協議後の感想】

☆学力調査の問題を全員で解いてみることで、児童の課題を再確認できました。低学年からの積み上げの大切さを改めて感じました。今後も共通理解して実践すること、そして、定期的に情報交換をしたいと思います。

☆実際に問題を解いてみて、データだけではわからないつまづきを知ることができました。また、どの学年でどこまでの力を身に付けさせないといけないかということもわかりました。

☆自分の学級を思い浮かべながら研修に参加しました。「こんな授業がいい」というアン

ケートを見て、求められている授業がどんなものか考えることができました。

☆言葉で表現していくことを意識して児童が自分の考えを

説明しることができるよう

に指導したいと思いました。

☆各学年の課題や指導方法について情報交換ができてよかったです。自分の力で考えを

説明できる力をつけていく手立てを工夫していこうと思

います。

☆児童の「わかった!」や「なるほど!」の音がたくさん聞ける授業を目指したいと思

います。(※一部抜粋)

毎年、国立教育政策研究所から「授業アイデア例」(平成二十一年度～二十七年

度)が各学校へ配布されています。(国研)のHPからダウンロードできます)指導にご活用ください。(億岐)



【再考・ふるさと教育】

「開かれた学校」づくりが叫ばれて久しくなりますが、隠岐管内における進捗状況はいかがでしょうか。

次の学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」が重要なキーワードの一つとして

挙げられるようです。さて、教育課程を社会に開くとはど

ういうことでしょうか。

具体的には、「ふるさと教育の深化・発展」ということ

になると考えます。各校における地域資源を効果的に活か

し、系統立てて学習を積み重ねていくこととなります。

その際のポイントは、「地域課題」の発見及び解決に向

けた活動です。選挙年齢が引き下げられるなか、高校生の

副教材に「地域課題の見つけ方」といった学習が設定され

ます。ただ、このような学習は小中学校におけるふるさと

教育の発展としてとらえられ、より効果的な取組となる

はずです。そういった意味でも、小学校段階からの地域学

習に「地域課題」といった視点を盛り込んでいくことは重

要だと考えます。

現在、各中学校区では小中学校が連携して全体計画を策定しています。年度毎の評価を行い、ねらいや視点を明確にして、次年度の活動を練り直してほしいと思います。

さて、前述した地域学習を推し進める上で重要な役割を担うのが、地域コーディネーターです。これまでの学校支援地域本部(文部科学省事業)

の中核を担う存在ですが、この地域本部の名称が「地域学校協働本部(仮称)」に切り

替えられるそうです。つまり、「支援から協働へ」大きく方向性をシフトするということ

になります。

このことから地域コーディネーターが、より学校との連携を密にすると同時に、地域のひと・もの・こととの調整を図り、両者のニーズに合った活動を展開する必要があります。

学校を単に支援するだけでなく、学校と地域が共通するねらいを持って活動に取り組むことが望まれます。

今後のふるさと教育の考え

方やキーパーソンについて記述してきましたが、最後は少し手前みそな話をします。

各町村において、独自のふるさと教育の推進を期待するわけですが、その計画や活動をサポートするのが、各町村に派遣されている社会教育主事です。彼らは教員としての資質・特性を生かしながら、

地域と密接に関わりを持ち、多くの人材を把握していま

す。いわば、ふるさと教育における地域の水先案内人です。

地域と学校、そして保護者等の様々な信頼関係が構築されていく地区ほど教育的効果が上がっているとの報告もあります。今、社会教育に求め

られているミッションは地域力の底上げ、そして地域コミュニティの活性化を担う「人づくり」です。

ぜひ、派遣社会教育主事を有効に活用してください。

(横田)

